

平成 29 年度夏季  
カウンセリング・ワークショップ

〈御案内〉



——主催——

一般財団法人 日本カウンセリング・センター  
〒161-0033 東京都新宿区下落合3-14-39  
T E L . 0 3 - 3 9 5 1 - 3 6 3 7  
F A X . 0 3 - 3 9 5 1 - 1 8 0 8  
E - M a i l . c \_ c e n t e r @ h b . t p 1 . j p  
U R L . <http://nihon-counseling.org/>  
振 替 口 座 0 0 1 7 0 - 8 - 2 0 5 0 6  
取 引 銀 行 りそな銀行目白出張所 No.881374(普通)

開 催 日 程

第一会場(八戸) 7月27日(木)～7月30日(日)

共催 八戸カウンセリング・センター 山形カウンセリング研究会  
青森カウンセリング研究会 東北カウンセリング研究会

第二会場(東京) 8月4日(金)～8月6日(日)

第三会場(大分) 8月24日(木)～8月27日(日)

共催 大分県カウンセリング研究協会

ご 挨拶

カウンセリングに関心を寄せ、学び続けておられる全国の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 日本カウンセリング・センター主催の平成 29 年度夏季カウンセリング・ワークショップの案内をお届けします。

今年(2017年)の5月1日、ロジャーズの後継者として、またフォーカシングの開発者としても知られたジェンドリンが90歳で亡くなりました。ロジャーズが亡くなったのが1987年でしたので、それから早や30年。ジェンドリンはいろいろな形で、ロジャーズ没後30年を支えてきました。例えば孔子には顔回の存在があったように、生前のロジャーズにはジェンドリンというかけがえのない存在がありました。それを思うと、晩年のジェンドリンにはそうした後継者なりパートナーが現われなかったことが、私にはどうしても不可解で残念だと感じられていました。しかし、最近『POWER OF

TWO 二人で一人の天才』(ジョシュア・ウルフ・シェンク著)という本を読んで、ロジャーズとジェンドリンはお互いにとって欠くべからざる「クリエイティブ・ペア」だったのだ!という確信が生まれました。ジェンドリンの没後、カウンセリングやパーソンセンタードセラピーの世界にも新しい創造的存在やクリエイティブ・ペアが求められているのかもしれない。

今年はまだ、当センターの創設者である友田不二男先生が亡くなられて12年を迎えます。いろいろな意味で、今年は区切りの年なのかもしれない、という思いが湧いてきます。友田先生のクリエイティブ・ペアは誰だったのだろう?と想像すると、「畏友」と表現されていた伊東博先生?あるいは、「真空」の問題を議論された諸富祥彦氏?…いや、友田先生のクリエイティブ・ペアは、先生が「自己三千人」という言葉で表現されていた、私たちを含むきわめて多くの人びと(衆生)である、と言えるのではないのでしょうか。あらためて、友田先生の言葉や思想や生き方と向き合うことの大切さをかみしめています。

この夏も、以下に掲載する各会場において、ひとりでも多くの方々がより深く自分を見つめ、他者を理解し、そうする中で意義深い体験と学びが生まれることを祈念しています。

平成29年6月吉日

一般財団法人 日本カウンセリング・センター  
代表理事 末 武 康 弘



## このワークショップの目的と特質

ここにご案内するワークショップは、世のいわゆる講習会とは、著しく目的・性格を異にしております。自分とは関係も縁もない誰かが決めた線に沿って、身体を運んでゆきさえすれば、世のいわゆる講師が壇上から抽象概念を降り注ぎ注入してくれる、といったタイプの会合ではありません。もちろん、参加者の要望・要請によって、講演とか講義とかいう言葉で呼ばれている場面が展開することもないわけではありませんが、しかしそのような場面をも含んで、会期中のほとんどすべてが、何よりも参加者各自の参加目的に沿って展開されることが、基本的に目ざされている会合なのであります。端的に申し上げれば、文字通りの「**身心学道の場**」なのであります。

このことは、決して決して奇異をてらっての妄言でもなければまた、人心をあおる宣伝文句でもなく、特に現代においてはきわめて切実かつ緊急な課題への、きわめて

古いがかしいよいよ新鮮さを甦らせている現実的な取り組み(アプローチ)を、率直かつ端的に表明しております。それだけに、不知不識のうちに既成の諸概念によって枠づけられ、しかも既成の社会的体制によって強化されてしまっている思考形式によっては、少々ならず理解し難い記述であろうかと想います。しかし、もしも読者が、ニュートン物理学、今日のいわゆる「古典物理学」、を武器もしくは拠りどころとして増強の一途を辿ってきた産業主義的諸概念から己れを解き放ち、種々様々な困惑させられる今日の事態から直接に感得されている己れ的心情に即して読んで下さるならば、おぼろげながらもこのワークショップの目的と特質とが浮かび上がってくる己れに気づくのではないのでしょうか？

わが国ではその名を広く知られている現代の碩学・糸川英夫氏(組織工学研究所々長)は、「リフキンの本を読んで、私がしばらくは立ち直れそうにもないショックを受け、憂鬱な気分になり込んでしまった理由」を、その著「第三の道——インドと日本とエントロピー」(株式会社 CBS・ソニー出版)で告白・概説しておられるのを読まれた方々もおられるでしょうが、そしてさらに、竹内 均氏が訳出されたそのリフキンの「エントロピーの法則」(祥伝社刊)やカプラの「ターニング・ポイント」・「タオ自然学」(工作舎)、あるいはブルックスの「センサリー・アウェアネス」(誠信書房)などをもお読みになられた方々もおられるでしょうが、もしもこれらをお読みになられたならば、ニュートン物理学が、いわゆる「教育」の分野においてもどれだけ猛威を振って今日の荒廃をもたらしているかは、すでに十二分にご了承・ご洞察ズミのことでしょう。私どもに残され課せられている道はただひとつ、「機械論的世界観」によって破滅の淵に追い詰められている私ども人間が、——糸川氏の言葉を借りれば「終末的様相をみせてきた“先進諸国”(もしかすると、先に地獄へ進むという意味かも知れない)」というその「地獄への進路」を、できるだけ早く、かつ、効果的に閉塞すべく勇気を振り起こすことであり、さらには新しい創造的・開拓的な活動へと、人それぞれの分に応じて参加し参与してゆくことなのであります。

端的に申し上げれば、「誰かがなんとかしてくれるであろう」時代が急ピッチで終末段階に向かいつつある現代において、言わば「生命感覚」を頼りに己れの分をシッカリと見定め、己れの足で立ちかつ歩くことが、何よりも肝要な緊急事となっているのであります。そして、ここにご案内するワークショップは、「そのための**体験学習の場**」以外の何ものでもないのであります。

友田不二男



## 平成 29 年度・夏季カウンセリング・ワークショップ開催要項

### 第一会場(八戸)

共催 八戸カウンセリング・センター  
山形カウンセリング研究会  
東北カウンセリング研究会  
青森カウンセリング研究会

会 場 洗心荘 (十和田湖温泉郷 八戸市民保養所  
〒034-0303 青森県上北郡十和田湖町大字法量字焼山 64-184  
電話 0176(74)2146 FAX 0176(74)2910)  
「洗心荘」は十和田の豊かな自然に恵まれた溢れる天然の湯の宿  
で、身も心ものんびりとお寛ぎいただけるところです。

#### 【交通のご案内】

- 電車 東北新幹線八戸駅で下車、送迎バスに乗り換え約 2 時間。
- 自動車 東北自動車道八戸 I C で降りて、十和田湖焼山方面に向かい、約 1 時間半。
- 送迎バス 7 月 27 日(木)11 時 45 分八戸駅西口より会場行き出発。  
7 月 30 日(日)12 時 15 分会場前より八戸駅行き出発。

会 期 7 月 27 日(木)午後 2 時～7 月 30 日(日)午前 11 時(3 泊 4 日)

会 費 32,000 円 (研修費 12,000 円・宿泊費 20,000 円)

定 員 30 名

世 話 人 末武康弘(当法人代表理事、法政大学教授)

申込期日 7 月 20 日(木)まで

申 込 先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局

地 元 〒031-0802 青森県八戸市小中野 4 丁目 2-13 TEL・FAX 0178(24)1492

問合せ先 八戸カウンセリング・センター事務局 溝口隆造



### 第二会場(東京)

この会場は、現実的なご事情で合宿研修に参加できない方々のための「**通いのワークショップ**」です。宿泊および昼食のお世話は致しかねますので、あらかじめご承知おきください。

会 場 一般財団法人 日本カウンセリング・センター2 階研修室  
(JR 山手線目白駅下車、徒歩約 10 分)

会 期 8 月 4 日(金)～ 8 月 6 日(日) 時間は 3 日間とも 10:00～17:00

会 費 18,000 円(研修費・茶菓子代)

定 員 20 名

世 話 人 水野明(当法人業務執行理事)

河本京子(当法人認定カウンセラー)

申込期日 7月28日(金)まで

申込先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局



### 第三会場(大分)

共催 大分県カウンセリング研究協会  
後援 大分県教育委員会  
大分保護観察所  
大分県BBS連盟  
大分言友会  
大分県言語障害児を持つ親の会  
NPO法人心の支援センター

会場 宇曾山荘(大分県大分市大字入蔵 635-1 電話 097-588-0801

URL: <http://www.uzousansou.com/>)

宇曾山荘は、宇曾嶽神社本宮を有する宇曾山の懐に抱かれ、爽やかな風と緑豊かな大自然に囲まれ、心と体のリフレッシュに最適な施設です。

#### 【交通のご案内】

- 大分駅から12キロ、車で約30分(8月24日は午後1時に送迎バスが大分駅南口でお待ちしますのでご利用下さい)。
- 公共機関は、大分バス駅前のりばより野津原方面行きの野津原で下車、バス停からお電話頂ければお迎えに行きます。

会期 8月24日(木)14:00 ~ 8月27日(日)11:00まで(3泊4日)

会費 40,000円(研修費・宿泊費・資料代を含む)

定員 40名

世話人 佐世省吾(当法人参与・大分県カウンセリング研究協会)

生山留美(NPO法人心の支援センター理事長)

後藤アイ(大分県カウンセリング研究協会事務局)

申込期日 8月17日(木)まで

申込先 一般財団法人 日本カウンセリング・センター事務局

地元 〒879-7875 大分市吉野原 132 後藤アイ

問合せ先 電話・FAX 097-595-0351

## ＜申込方法と備考＞

- (1) 巻末の参加申込書に必要事項を記入し、事務局宛に郵送・FAXでお送りください。もしくは、事務局のメールアドレスに必要事項を入力し「夏季ワーク〇〇会場参加申し込み」などの件名で送信ください。申込金¥5,000は、銀行振込・口座振替・現金書留・当日持参のいずれかでお支払いください。
- (2) お申し込みいただきますと、当方より折り返して「参加承諾証」をお届けいたしますので、この「参加承諾証」を会場にご持参ください。会場受付において申込金を会費に繰り入れます。
- (3) お申し込み後、なんらかのご事情で参加できなくなった場合には「参加承諾証」をどなたかにお譲りください。または、同年度内の別の会場に振り替えることは構いませんが、いずれの場合も申込会場の申込締め切り期日前にお知らせください。
- (4) 定員に達した場合は、申込期日前でも締め切ります。お含みおきください。
- (5) 申込期日前に締め切った場合は、返送料を差し引いて申込金をお返しいたします。
- (6) この会合は、東京会場以外、全員合宿を原則としておりますが、諸般の事情により「通い」を希望される方はあらかじめお問い合わせください。
- (7) 特別の事情がある場合には、世話人が変更されることがありますので、その場合にはご了承ください。
- (8) 会場により「宿泊費」の変動のため、「会費」の金額が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (9) 申込金を銀行振り込みされる場合は、一般財団法人 日本カウンセリング・センターの口座にお振り込みください。(振込先:りそな銀行目白出張所(普)No.881374)

### 平成 29 年度・夏季カウンセリング・ワークショップ参加申込書

このワークショップの目的に賛同し、次のワークショップに参加します。

八戸会場(八戸)	東京会場(東京)	大分会場(大分)
----------	----------	----------

※参加ご希望の会場の左の欄に○をご記入ください。

申込金の送金方法 りそな銀行目白出張所 振替口座(表紙参照)

現金書留 当日持参

平成 年 月 日

現住所	〒		
電話番号	E-mail		
ふりがな	生年月日		性別
氏名	Ⓜ	男・女	
所属機関			

※ E-mail(メールアドレス)・生年月日・性別・所属機関の記入は任意です。

一般財団法人 日本カウンセリング・センター 御中